

地域密着型金融の推進に関する方針

平成21年5月

株式会社 富山銀行

地域密着型金融推進計画策定にあたって

当行では、3つの経営理念の1つとして「地域経済の発展とお客さまのご繁栄を通して社会貢献を図ること」を掲げており、当行の経営理念そのものが、地域密着型金融推進にあたっての基本的な方針であると考えています。

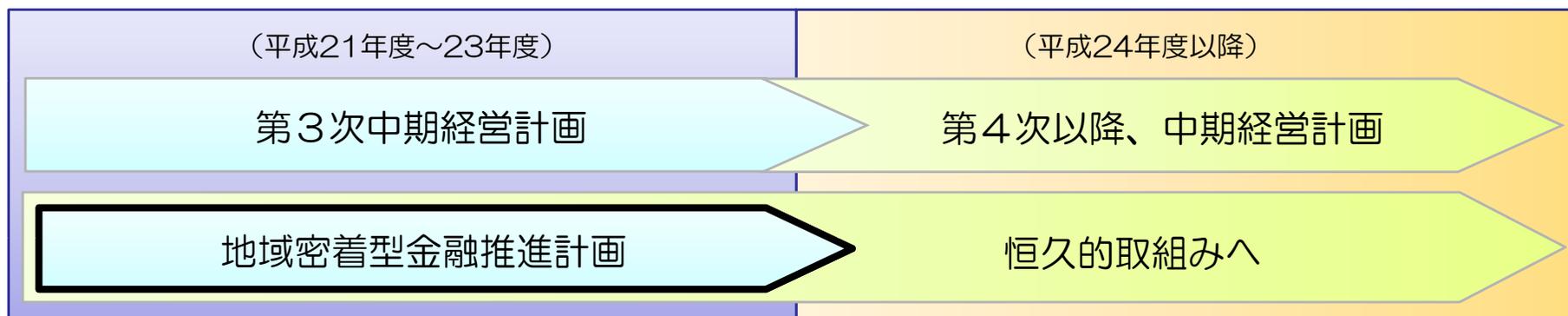
経営理念

- 健全経営を維持しお客さまから信頼されること
- 地域経済の発展とお客さまのご繁栄を通して社会貢献を図ること
- 創造性、自発性を尊重し明るい企業文化を創ること

地域密着型金融推進にあたっての基本的な方針

上記の経営理念に基づき当行は従来より、地域経済の活性化や中小企業金融の円滑化に向けた取組みを行なってきましたが、今後とも引続き恒久的取組みとして、地域密着型金融の推進に積極的に取り組んでいきます。

現在当行は第3次中期経営計画（平成21年度～23年度）の実施期間中であり、今般、同期間に併せた今後3年間にわたる地域密着型金融推進計画を策定しました。



第3次中期経営計画策定に至るまで

当行の沿革

- ・昭和29年2月、富山県内中小企業金融の円滑化に資することを目的に創業

▼創業の精神＝「**地元の資金は地元へ**」「**地元企業・富山県民にお役に立つ銀行**」

⋮

- ・平成16年2月、創立50周年。「第二の創業期」と位置づけ

- ・平成16年4月、新・第1次中期経営計画スタート（～平成19年3月）

▼経営コンセプト

- ・中小零細企業の皆さまにもっとお役に立つ「**中小小規模小口金融銀行**」の実現
- ・富山県民のための「**家計の銀行**」の実現

▼目指すべき姿

「**地域特化型リテールバンク**」＝「**富山県内真のリージョナルバンク**」の実現

- ・平成19年4月、第2次中期経営計画スタート（～平成21年3月）

▼目指す銀行像

- ・地域の皆さまと共に歩み成長・発展する銀行
- ・地域の皆さまのために「**3S（＝最適満足）**」を提供する銀行

※地域密着型金融の推進を“**地域社会における当行の役割**”として設定

第3次中期経営計画（平成21年4月～平成24年3月）策定

▼本計画の中で、全行的な7つの戦略のうちの1つとして、
「**地域密着型金融の推進**」を設定

創業精神の継承

第3次中期経営計画の内容

～名称：富山銀行*i*プロジェクト～

〈期間：平成21年4月～平成24年3月（3年間）〉

目指す銀行像



設定した3つの「目指す銀行像」のうち、『愛（とやま県愛）』と『1（Only1）』が地域密着型金融の精神に合致しています。



収益性・健全性・効率性・成長性の全てをバランス良く追及したうえで企業価値の増大を図り、「地域密着」「社会貢献」という道路の先にある、「とやま県経済の発展」「お客さまのご繁栄」という目的地へ向けて、持続的に突き進むことを目指しています。

第3次中期経営計画の着実な実践こそが、地域密着型金融の推進であると考えています。

地域密着型金融推進計画

地域密着型金融推進計画の取組み

地域密着型金融推進計画に基づき今後3年間、下記の取組みを実施します。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- (1) 創業・新事業支援
- (2) 経営改善支援
- (3) 事業再生支援
- (4) 事業承継支援

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- (1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み
- (2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み
- (2) 地域経済活性化につながる多様なサービスの提供

取組みの代表的事例

今後3年間に実施を予定している取組みの代表的な事例をご紹介します。

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

・大学や高等専門学校等との間で締結した「包括的連携協力」を活かし、ベンチャー企業等の発展を図ります。

(2) 経営改善支援

・本部企業支援室と営業店とが連携して、お取引先に対して財務内容改善・資金繰り改善等の支援に取り組めます。

(3) 事業再生支援

・富山県中小企業再生支援協議会等との連携を強化して、お取引先の具体的な再生計画策定に向けた協議を継続して行います。

(4) 事業承継支援

・「経営なんでも相談会」を各営業店において継続的に開催し、事業承継を含めた相談・育成・支援を行ないます。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資への取組み

・機械・車両等を担保とした「機械担保ローン」(ABL)について、積極的な推進を図ります。

(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

・お取引先の将来性や販売力・技術力等について、当行職員が適切に評価できるよう、引続き「目利き」研修を開催します。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

・商工会議所等の各種団体との間で締結した「地域力連携拠点パートナー協力に関する覚書」に基づき、富山県経済の活性化に向けた各種事業に積極的に取り組めます。

(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

・金融教育の実施や環境定期預金の取扱い等、CSRに向けた取組みを継続して行ないます。

数値目標、情報開示態勢

数値目標

当行では今後1年間の数値目標を設定し、1年毎に実績の把握と数値目標の再設定を行いません。
なお、実績と新しい数値目標については、別途公表する『地域密着型金融の取組み状況』において、1年毎に公表いたします。

情報開示態勢

当行では、これまでも地域の皆さまに対して、『地域密着型金融の取組み状況』の公表等、地域密着型金融の推進に関する情報開示を積極的に行なってきました。
今般策定した地域密着型金融推進計画（平成21年度～23年度）の進捗状況についても、従来に引続き、地域の皆さまに対して積極的な情報開示を行なっていきます。

開示方法	開示時期
ホームページ	5月
ミニディスクロージャー誌	6月
ディスクロージャー誌	7月